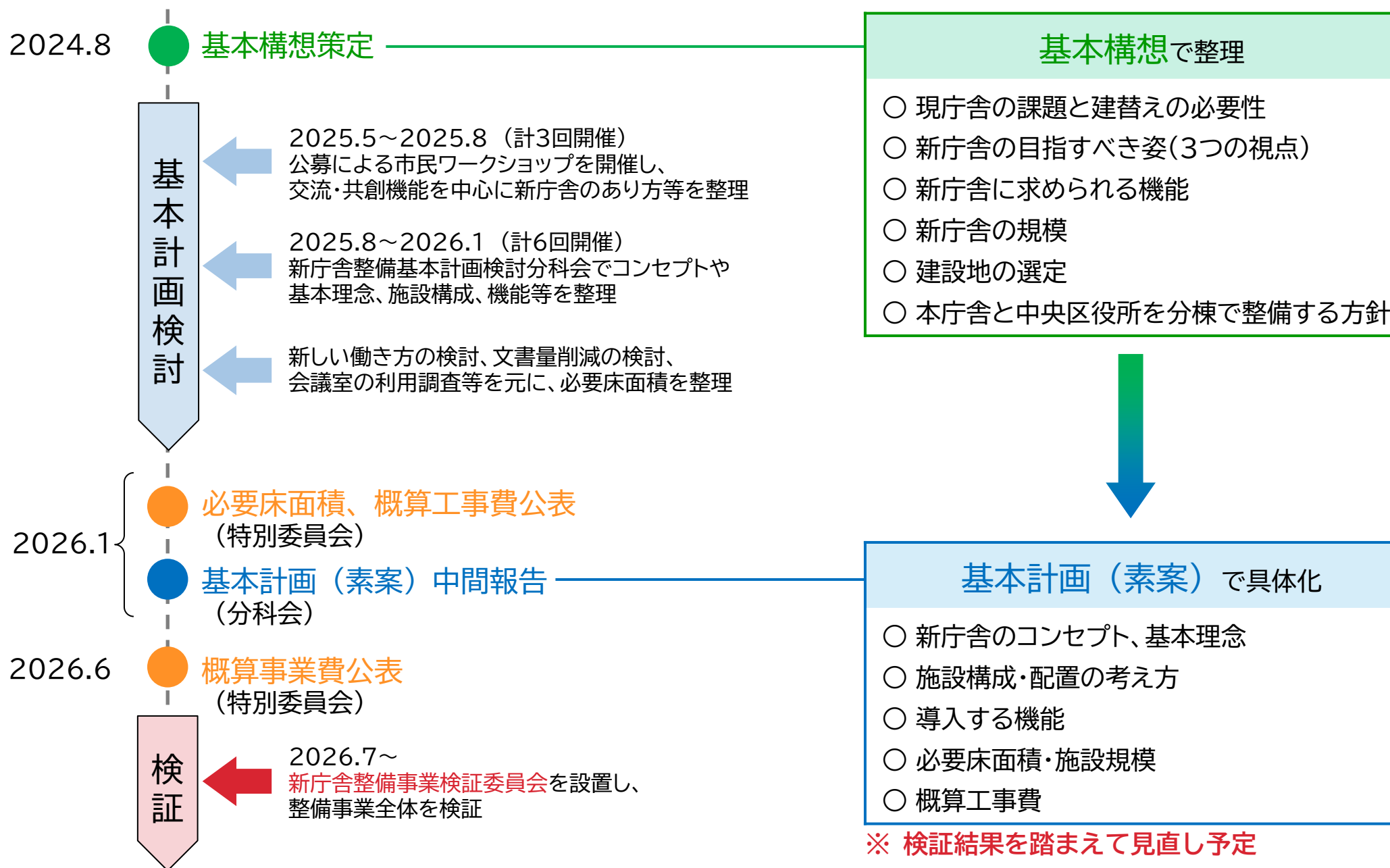


基本構想で整理した目指すべき姿等を踏まえ、基本計画（素案）において、新庁舎のコンセプトや機能、規模、配置、概算工事費等を具体化しました。



基本構想(R 6. 8策定)で示した「新庁舎の目指すべき姿(3つの視点)」

1 あらゆる災害に対応できる庁舎

今後も、熊本地震以上に大きな地震や、気候変動の影響による水害・浸水のリスク、その他の大規模な自然災害が発生する可能性が十分に見込まれることから、あらゆる災害に対応する防災拠点施設として、安全かつ継続的に機能する庁舎を目指します。

(1) 十分な耐震性能の確保 (2) 浸水に対する脆弱性への対応 (3) 防災拠点施設としての機能拡充

2 市民が利用しやすく、質の高い行政サービスが提供できる庁舎

だれもが利用しやすく、効率的で質の高い行政サービスを提供でき、来庁者の快適性と利便性を確保するとともに、社会情勢の変化に柔軟に対応できる可変性のある庁舎を目指します。

(1) 来庁者への配慮・利便性 (2) 窓口機能の集約等による市民サービス向上 (3) 効率性・可変性 (4) 環境負荷の低減

3 まちの賑わいに貢献し、まちづくりの核となる庁舎

市民協働や交流に資する気軽に市民が集える庁舎整備と、まちづくりの核として、周辺地域も一体となった賑わいの創出を目指します

(1) 市民交流・情報発信の場 (2) まちづくりの核 (3) 市有地の利活用

基本計画素案(R 8. 1分科会資料)で示した「新庁舎のコンセプト、基本理念」

コンセプト: 森のようにひととまちをそだて・つなぎ 熊本城とともに まもり・あゆむ

① あらゆる災害からまもり様々な状況に柔軟かつしなやかに対応する庁舎

② 全ての人が使いやすくアクセスしやすい、居心地が良く快適な庁舎

基本理念: ③ 多様な場所や空間があり、交流・共創と賑わいを生み出す庁舎

④ 森の都の景観と調和し、地域の歴史を継承し文化を創出する庁舎

⑤ 恵まれた環境や限りある資源を活かし、育み、永く使うことができる庁舎

基本計画素案(抜粋) ※記載内容は、2026.1時点で整理した内容であり、今後変更になる場合があります。

【新庁舎のコンセプト】 森のように ひととまちを そだて・つなぎ 熊本城とともに まもり・あゆむ



【新庁舎の機能】

防災機能	手続・相談機能	議会機能 ※本庁舎・議会のみ
○ 耐震安全性の目標を「構造体：I類」等に設定 ➢ 免震構造を念頭に、地盤に応じた適切な構造形式 ○ 浸水を防ぐ備え・浸水した場合の備えを導入 ➢ 止水板設置、主要機器の上層配置等 ○ 災害時の業務継続性を確保 ➢ 非常電源燃料や受水槽容量の72時間確保等 ○ 災害時の可変性の確保 ➢ 災害規模に応じて会議室や執務室を連携して活用 ○ エリア防災への寄与 ➢ 低層部などのオープンスペースを活用し、近隣施設の災害時の役割を補完	○ 誰もが安心して快適に利用できる窓口機能 ➢ 中央区役所の手続きのワンストップ化(転出入手続等) ➢ 本庁舎の窓口の共用化 ➢ 利用者特性に配慮した待合スペース ➢ プライバシーに配慮した相談・打ち合わせスペース	○ 傍聴者にも配慮した開かれた市議会 ➢ 様々な傍聴者に対応した傍聴席・傍聴室、動線 ➢ バリアフリー対応やユニバーサルデザイン等に配慮 ➢ 議会図書室の市立図書館等との連携
交流・共創機能		その他
○ 本庁舎：憩いと賑わいにつつまれ、新しい“何か”が生まれる空間 ➢ 来街者・観光客など様々な人が気軽に立ち寄りたくなる機能を設置 ・敷居が低く、用事がなくてもいつでも気軽に寄れる ・周辺施設と調和し、憩いにも賑わいにもフレキシブルに使える ・多様な交流が生まれ、市民と職員がつながり、共創できる場 ○ 中央区役所：人、場所、想いをつなぎ、まちに動きを生み出す空間 ➢ 区民活動・交流のための機能、まちなかの回遊性向上に資する機能を配置 ・区民の交流と活動の場 ・周辺地域や市民活動を含め様々な情報を発信する場 ・場所をつなぎ、まちに回遊を生み出す		情報発信スペース (出典：長崎市HP) 共創スペース (出典：渋谷キューズHP) ○ 環境配慮 ➢ 基準一次エネルギー消費量から50%以上の削減 ➢ 再生可能エネルギーの導入 ○ 景観・デザイン ➢ 周辺との一体的な空間・景観形成 ➢ 熊本城への眺望確保 ➢ 緑や水の要素を取り入れた空間形成 ○ インクルーシブデザインの導入 ➢ 多様な利用者の視点やニーズの反映 ➢ 誰もが安心して快適に利用できる庁舎の整備 ○ セキュリティの確保 ➢ 情報資産の安全確保 ○ 長寿命化・ライフサイクルコストの低減 ➢ メンテナンス性・更新の容易性の確保 ○ 可変性の確保 ➢ スケルトン・インフィルを採用 ○ DX推進 ➢ 最新のデジタル技術への対応